



# 2016 春季生活闘争ニュース

2016.3.4 第3号 発行責任者 連合北海道組織労働局

## 3・2全道総決起集会を開催！

—2016 春季生活闘争勝利！衆議院5区補選・第24回参議院選挙闘争勝利！へ1350人結集—

連合北海道は3月2日札幌市教育文化会館において、2016 春季生活闘争ヤマ場の闘いに向けた全道総決起集会を開催し約1350人の組合員・退職者等が参加した。



出村会長

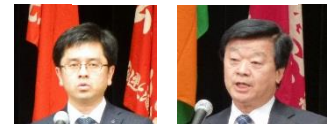
挨拶に立った出村会長は、日本は分配がゆがんで格差が拡大するという社会問題を抱えている、賃上げこそ最大の景気対策であり格差是正と経済の好循環の両立が必要、立憲主義、民主主義を守るためには一強他弱ではなく緊張感ある政治体制の実現が不可欠とし、春闘期における職場・地域の闘いとともに当面する5区補選の「池田まき」、7月の参院選における道選挙区「徳永エリ」、連合推薦比例12名の勝利に向けて組合員の結集を訴えた。

続いて、杉山事務局長が今春闘における情勢と具体的な闘い方について、これまでの「大手追従・大手準拠」から転換し、「持続性」「月例賃金」「広がり」「底上げ」の4つのキーワードを中心とした中小・非正規労働者の「底上げ・底支え」「格差是正」というボトムアップ型の運動にこだわって経済の好循環実現を図る。そのために、政策・制度要求の実現や、最低賃金の引き上げを掲げた「クラシノソコアゲ応援団！」行動と連動した取り組みの重要性を提起、14日からの第1のヤマ場、引き続き中小・中堅、4月の地場・中小組合の回答交渉に向けて組合員の積極的な参加を訴えた。



杉山事務局長

決意表明に立った電機連合の仙石事務局長は、産別統一闘争として中堅・中小組合への支援強化と波及効果拡大、バリューチェーン全体での付加価値の適正配分をめざす取り組みを報告、続いて全自交の鈴木事務局長が、「ライドシェア」と称する白タク合法化の動きに対し利用者や地域の安全・安心を守る運動への理解と協力を訴えた。最後に、石狩地協の山本副事務局長が、これまで未加盟組合・未組織労働者への春闘参加を呼びかけてきており今後も着実に支援の輪を広げていく決意を表明、連合組合員のエネルギーで各闘争に勝利しようと力強く訴えた。



(左上：仙石事務局長 右上：鈴木事務局長 下：山本副事務局長)



池田まきさんと徳永エリさん

衆院5区補選と参院選挙区に立候補予定の池田まきさんと徳永エリさんが、連合推薦比例候補予定者の産別代表とともに参加者の盛大な拍手の中で入場、池田まきさんは、「貧困層の増加、民主主義の崩壊に対して、国民すべての声で自公政権にノーを突きつける」と勝利を参院選につなげる決意を述べ、徳永エリさんは、「国家主義、市場経済至上主義の下、自民党1強で

国会ルールが壊され憲法も無視されている。議会制民主主義を取り戻すため安倍政治を止めなければならない」と呼びかけ支援を訴えた。出村会長からお二人に激励の花束が渡され、比例候補の全員完勝を誓い、最後に参加者全員と団結ガンパローで締めくくった。

